



協会
マンスリー

外国人対応を強化

会員向けにヘルプデスク創設

一般社団法人日本マン
スリーマンション協会
は、マンスリー物件が最
も強みを発揮する外国人
入居への対応を強化す

る。会員向けのヘルプデ
スク設置などを検討して
いる。
猪又将哲代表理事は
「国の労働力確保や留学

生誘致政策などもあり、
今後外国人ニーズが増え
ると思われる。しかし英
外国語のできる専任スタ
ッフを置くことはコスト

面などから難しい。その
ため協会では外国人に対応
できる企業と提携し、電
話で通訳対応することな
どを考えている」として
いる。またサブリース物
件に空きがある場合は、
その企業に再転貸して客
をつけるできるシステム
創設も考えている。
そのほか協会では春を
メドに、家具やデジタル
テレビなどの共同購入を
開始するほか、マンスリ
ー向けの少額保険商品の
開発、備品の一時保管用
共同倉庫の取得なども検

討する。

同協会は07年4月にマ
ンスリーマンション業界
の発展を目的に設立し
た。会員数は約50社。



21日に社員総会を開催、
各種事業予定を発表した



マンスリー協会 専門サイトを強化

エンド向けサイト開設に意欲

日本マンスリーマンション協会(東京都渋谷区)は1月21日、第2回定時社員総会・賃貸住宅セミナーを開催した。

理事にはリブ・マックスの馬場敏郎常務が新任となった。会員約50名が参加した総会では、代表理事、理事の引継ぎが行われ、新代表者が発表された。代表理事は引き続き、ファイバーゲート(東京都港区)が、理事はリブ・マックス(兵庫県神戸市)が再任された。代表理事は引き続き、ファイバーゲート(東京都港区)が、理事はリブ・マックス(兵庫県神戸市)が再任された。

「マンスリーマンションはカバンひとつで入居できるものと捉えていま、業者向け・エンドユーザー向けの両サイトが、業界意識の改革につながればと考えています」(猪又代表理事)

「加盟した企業の数千戸に及ぶ物件に対して相互保証をはかります。数を集めてより質の高い保障制度を提供できます。ユーザー向けの両サイトが、保証制度も短期間でも適用できるものによっていく必要があります」(有川理事)

また、総合保障制度を、昨年9月に設け、サブリース業を営む企業向けにする倉庫も検討中。地デジも会員で一括導入し、新しく日動(北海道)もオープンさせたいと意欲を始めた。



日本マンスリー協会 総会

「家具付き市場拡大へ」

日本マンスリーマンション協会はこのほど、第2回定時総会を都内で開いた。代表理事を務める猪又将哲（ファイバーゲート代表取締役）は09年の活動として、



6月に開設した「家具・家電付き賃貸物件情報検索サイト」を挙げ、定期借家契約を活用した家具・家電付き物件の市場拡大に引き続き尽力していく方針を示した。

また、今後増加が見込まれる外国人の住居問題について「我々が最も対応力のある業界」としたうえで、「外国人のヘルプデスク的なサービスの導入を考えている。当協会が先例となるよう努めたい」と話した。